

(公財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は、5月14日発行のニュースリリースNo.92以降の動きについてご報告いたします。

1. 中野区主催「第1回中野どまんなか市」にパートナーシップ協定締結団体として参加します

中野区では、だれもが健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を送れる「スマートウエルネスシティ（SWC）」の理念を踏まえ、地域包括ケア体制の構築を目指して、この度、新庁舎において「第1回中野どまんなか市」を開催することになりました。

区役所自慢の集会場「シェアノマ」と「ミーティングルームA」を会場に、これまで区役所とパートナーシップ協定を締結した6団体が一堂に会し、「シェアノマ」では血中酸素濃度や握力、あるいはヘモグロビン推定値などヘルスチェック機器を体験してみる①「体験会」や、健康まちづくり部会、フレイル部会、在宅介護部会等で活躍されている企業の皆様から提供された②「健康関連商品の展示・ギブアウェイ」、さらにはハンドセラピー、健康快適生活、噛むことの大切さ、地域包括ケアシステム、正しい感染予防等、選りすぐりのテーマで、JAHlの各部会部会長・副部会長等が行う③「セミナー」の3つのジャンルで、JAHlはイベントを展開します。

JAHlの他にも、明治安田生命保険相互会社殿がベジチェックや血管年齢測定を、また中野区フリー活動栄養士会殿が栄養相談を、またM&F殿が足圧計による重心チェックや姿勢・歩行の相談等を展開されます。

主催の中野区地域支えあい推進部では、今回の第1回を試金石に、今後2か月に1回のペースで、例えば区役所職員の皆さんご自身の健康経営や中野由来のペットケアなど様々なテーマと規模で開催していきたいとしていますし、JAHlにとっても行政の支援のもとに、充実した会場設備を低廉なコストでヘルスケア推進活動が展開できるメリットが享受できます。



2. プラネタリーヘルス・イニシアティブ（PHI）は8月、米子シンポジウムを開催します。

本年3月に日比谷図書文化館大ホールで設立記念シンポジウムを行い、大盛況を博したPHIは、その後、各地から地元バージョンのシンポジウム開催を求められています。この度、鳥取県、江府町、鳥取県経済同友会西部支部の後援を受け、米子淀江文化センター（さなめホール）を会場に、8月3日（土）午後、米子シンポジウムを開催することになりました。

内容は、桐村代表の基調講演、田中善先生、横山和成先生の他、ガイナール鳥取の塚野真樹社長、一般社団法人 Expe の星明彦様（内閣府沖縄総合事務局運輸部長）が加わったパネルディスカッションを佐藤洋一郎先生がファシリテートされます。

PHIは規程や、桐村里紗代表 他の役員体制も固まり、本格的な活動が始まっています。

3. その他

- (1) 2024年度のJAHl事業計画・予算案の審議を議題とする臨時理事会が7月12日（金）14：00～15：30に開催されます。
- (2) 2023年度研究助成事業が成果報告の段階を迎え、7月25日（木）午後には、弊協会においてWEBによる発表会を予定しています。
- (3) JAHl野菜で健康推進部会主催の定期セミナー「今後の農産物の調達を深掘する～生産から流通、そして消費者とともに考える」が7月5日（金）14：00～16：00、WEB併催、参加無料で開催されます。
- (4) PHIが一般社団法人日本健康食育協会と共催するシンポジウム「お米で日本を元気にするプロジェクト～第1回フォーラム・シンポジウム」が7月7日（日）13：00～16：30日比谷図書文化館大ホールで開催されます。（会場参加3,300円、オンライン参加2,200円）
- (5) 『ヘルスケア広場』 <https://jahi-hiroba.com/> ヘルスケア協会情報サイトがオープンしました。協会の活動はもちろん各部会、研究の動きを随時発信していきます。